



株式会社ダイワテック様に対する 『114 サステナブルベーシックローン』の実施について

百十四銀行（頭取 森 匡史）は2026年1月15日（木）、名古屋支店取引先 株式会社ダイワテック（本店：愛知県名古屋市西区大野木 代表取締役 岡 忠志）に対し『114 サステナブルベーシックローン（※1）』を実施しましたのでお知らせします。

今回、株式会社ダイワテックは、『ソーラーハウスの保有棟数』を SPTs（※2）に決めました。当行はお客様の企業戦略に即した SPTs の達成状況に応じて貸出金利を優遇することで、目標達成に向けた動機付けを行い、サステナブル経営を後押しします。

当行は、今後も地域金融機関として、お客様の SDGs や ESG への取組みを支援してまいります。

（※1）環境・社会課題の解決に資する取組みを、自社の実績を基準に目標値を設定し、達成状況に応じて貸出金利を優遇する当行独自のローン商品。第三者評価機関からのセカンドオピニオン取得が必要となる、サステナビリティ・リンク・ローンに比べ、多くの企業が取組みやすい設定としている。

（※2）Sustainability Performance Targets（環境や社会課題に対しポジティブな影響をもたらす企業目標）

記

1. 企業の概要

会 社 名 株式会社ダイワテック
本店所在地 愛知県名古屋市西区大野木3丁目43番地
業 種 ソーラーハウスの開発・販売・レンタル業

【サステナブルな取組み】

当社は、太陽光発電を主電力として利用できるよう工夫した「ソーラーハウス」を自社で開発し、販売及びレンタルをしております。優れたバッテリーの性能を生かし、曇りや雨の日でも約3日間は電力が使用可能です。ソーラーハウスが国土交通省の新技术 NETIS（※3）に登録されたことで、付加価値のある商材として認知度を高めました。今後も環境に優しい建物として『ソーラーハウスの保有棟数の増加』につとめ、持続可能な未来の実現をめざしてまいります。



（※3）新技术情報提供システム「New Technology Information System」の略で、国土交通省が運用している新技术にかかる情報を、共有及び提供するためのデータベース

2. SPTs について

ソーラーハウスの保有棟数の増加

以上